

甲子園出場の重み

注目を浴びる野球部員たち

取材陣に取り囲まれる



▲練習する野球部員とそれを見つめるカメラマン

7月31日に彦根球場で雨天の中、甲子園に向けての野球部の練習があり、そこで多数の記者の方々に野球部員は取り囲まれていた。

秀囲気がよくなり笑顔が増えた。甲子園に向けて滋賀県では自分たちが野球の練習ができるので楽しんでいきたい。今日の練習では自分たちの弱いところや、完璧ではないところを基本的な練習で調節した。夏の



午前11時からマスコミ各社の取材が可能になり、さっそくピッチャーの平尾拓也君(3-7)は、記者に囲まれて取材を受けていた。そのような状況でも平尾君は落ち着いて時には質問に答えていた。「甲子園に出場が決定したがみんな緊張しておらず、出場が決定する前より



▲周りの人たちへの感謝を話す山中君



▲記者の取材に応じる平尾君、時には笑みがこぼれていた(写真右上)

甲子園出場が決定すると小学校のスポーツ少年団の監督からお祝いでいただいた。甲子園という大舞台で自分らしく平常心で楽しく投球するので見に来てほしい」とこやかに語っていた。

また、キャプテンの山中俊亮君(3-7)に話を聞くと「彦根球場のグラウンドキーパーの方々にはいつもお世話になってくださる立命館大学の海老先生やバッティングセンターの管理人の方などたくさんの方々に改めて支えてもらっていると思った」と周りへの感謝の意を話していた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号